

学術研究会主催者申請システム 利用に際しての Q&A

- Q1. 学術集会として学会より認定を受けている企業共催学術集会について、
本システムを利用する場合は誰がどのように申請するのでしょうか？
- A1. 日本医学放射線学会に所属している専門医が発行したユーザー情報を用いることで、運営事務局（企業等含む）でも本システムより申請を行うことが可能です。
- Q2. 現地と Web の両形式において、同時に領域講習を行う場合の講習情報（子）の登録はどのように行うのでしょうか？
- A2. 講習会の内容が同じであれば1つの講習として申請してください。
承認がございましたら現地と Web 共に開催可能です。
- Q3. 7月に開催予定の学術集会があります。システムは6月1日以降に運用開始との事ですが、
本システムの利用は間に合うのでしょうか？
- A3. 8月の本格稼働までは一部の学術研究会に対して先行利用が行われます。
お声のかかっていない学術研究会につきましては、今まで通り用紙での申請をお願いします。
- Q4. 来年2月に地方会を開催予定です。日医放、核医学会、IVR学会の3学会を併催しますが、
この場合は3つの地方会をそれぞれ登録する必要があるのでしょうか？
なお、参加費はそれぞれ学会で請求予定です。
- A4. 同じ日に3つの学会主催の学術研究会が行われるだけ（それぞれの学術研究会にて参加証明が必要な場合）であれば、学術研究会ごとに申請をしていただく必要があります。
- Q5. 学術研究会主催者申請システムを利用する際のパスワードは JRS 会員ログイン時のパスワードと異な
ってよいのでしょうか？
- A5. ユーザー登録をした会員様が運営事務局（企業等含む）に登録を代行することを想定しております。
個人情報保護のため、会員マイページにログインする際のパスワードとは異なるものを設定していただ
けますでしょうか。
なお、システム利用のためにユーザー登録を行った際にパスワードは自動発行され、こちらのパスワ
ードは学術研究会主催者申請システムにログイン後に変更が可能です。

Q6. 現地では受付システム（カードリーダー）にて出席履歴を登録しますが、オンラインで出席履歴の登録を行う場合はどのようにすればいいのでしょうか？

A6. オンライン学術研究会支援システムにて参加者情報（ログイン記録、設問解答記録）を保管する仕組みがございますので、そちらをご利用していただくことになります。

なお、こちらのシステムは現在開発中となっており、説明会後にいただいたご意見をもとに社内検討を行っております。

Q7. 学術研究会主催者申請システムを利用する際は費用が発生するのでしょうか？

A7. 学術研究会主催者申請システムを利用するだけであれば費用は発生いたしません。

ただし、受付システムをダウンロードするための端末がないためレンタルを希望する場合や、人員の手配をご希望の場合は費用が発生いたします。

端末は1台14,000円（税別）となっており、人員については開催日4か月前までに以下のサポート会社にご相談をお願い致します。

<お問い合わせ窓口>

京葉コンピューターサービス株式会社

お問い合わせ窓口（平日 10:00 ～ 18:00）

TEL：043-216-2555

E-Mail：unyou@kcs-grp.co.jp

Q8. 受付システムにて記録したデータのアップロードは、学術研究会終了後のいつまでに行えばよろしいのでしょうか？

A8. 学術研究会終了後7日以内にアップロード、確定作業を完了させていただきますでしょうか。

Q9. 入室記録と退室記録に齟齬があった場合の処理はどうなるのでしょうか？

A9. 単位は入室と退室の両方の記録が必要となります。入退室どちらか一方の記録のみの場合は単位となりません。

Q10. 受付システムのデータに対して修正を行う場合（カードを忘れた人）、どのように行うのでしょうか？

A10. ダウンロード・アップロードシステム（以下 DL/UP システム）に受付システムのデータをアップロードすると、同システム内にて参加者の編集が可能です。

Q11. 学術研究会主催者申請システム運用後も、領域講習は学会へ Excel シートを用いた申請が別途必要でしょうか？

A11. 8月1日の以降に開催される学術研究会はシステムのみ申請となり、用紙（エクセル等）での申請は受付できなくなります。

なお、トラブルが発生した際は改めて周知をいたします。

Q12. 申請する際の期限が開催日より2ヵ月前までとなっておりますが、それまでに講師や座長が決まっていない場合はどうすればよいのでしょうか？

A12. 決まっていない場合は申請が出来ないものとお考え下さい。

Q13. 複数端末に受付システムをインストールした場合のアップロード方法はどのようなのでしょうか？

A13. 受付システムを利用した各端末から事後データを抽出していただき、まとめてアップロードを行っていただきます。

例として3つの端末をご利用の場合は、各端末から事後データを抽出するため合計3ファイルが手元に残ります。こちらを DL/UP システムにて合計3回アップロードを行います。

Q14. 受付を行った情報の重複や上限超過のチェックは運営事務局が行うのでしょうか？

A14. 現地で受付を行った場合は、重複や上限超過はシステムで自動精査されます。

なお、Web での受付については改めてご連絡いたします。

Q15. 地方会などで同じ医師（事務局）が主催を繰り返す場合、都度「初めてご利用の方」からユーザー登録を行う必要があるのでしょうか？

A15. ユーザー登録は基本的に最初の一回だけとなっており、その後は「ユーザー登録がお済みの方」よりログインを行い、システムをご利用ください。

Q16. 審査で不承認となる具体例はありますか。

A16. 開催内容や領域講習の内容（タイトルや時間に対する講師数など）、営利企業の関与等があげられます。

Q17. COVID19の影響で会期直前に講師が来場できなくなり、オンラインに変更する可能性があるかと思いますが、その場合でも修正可能でしょうか。

A17. 承認されている学術研究会は、申請後に申請者側で修正を行うことが出来ません。まずは JRS 事務局様へご相談をいただく必要がございます。その後、管理者機能よりステータスの修正をさせていただきます。（事後報告では受講状況のチェック体制が整っている場合でも単位付与の対応は難しくなります。）

なお、講師がオンラインで講義を行い、現地で受付システムを利用して入退室のチェックが出来るのであれば、そのまま開催をしていただいても問題ありません。

Q18. ある地方会事務局が開催を予定していたが諸事情により事務局が変更されることになった場合、登録後の主催責任者（主催医師）の変更は可能でしょうか？

A18. 引継ぎを行う事務局様へ、学術研究会主催者申請システムを利用するためのユーザー情報（会員番号/パスワード）をお渡しして問題なければ、ユーザー情報をお渡ししたのちに申請内容の変更をお願いいたします。

Q19. 申請してから承認されるまで、どれくらいの時間がかかるのでしょうか？

A19. 申請いただいた後、専門医制度委員会にて協議を行います。その際に、申請要件（営利企業の関与、演題に関する演者の過剰分割、演題内容など）を問題なく満たしており、申請依頼が多くなければ1週間ほどで承認可能です。なお、どうしても急ぎの場合は学会事務局までご連絡ください。

Q20. 参加費が会員、非会員など2種類ある場合はどのように入力すればいいのでしょうか？

A20. まずは高い費用を入力いただき、詳細については「開催内容」欄へご入力ください。

Q21. 学術研究会（親）の登録の際にプログラムのアップロードが可能ですが、その際の容量が1MBでは少ないと思うのですが、容量を増やすことは出来るのでしょうか？

A21. KCSにて検討後にIT-WGにてご提案をさせていただきます。検討終了後に改修が行われるまでは現状の容量でご利用ください。

===実際にはなかったが、上記内容に関連する内容===

Q22. DL/UP システムにてダウンロードした受付システムは複数の端末で利用可能でしょうか？

A22. 可能でございます。

ダウンロードした ZIP ファイルを複数の端末にコピーし展開（インストール）を行えば可能です。
操作方法等については別途マニュアルをご用意いたします。

Q23. パスワードを紛失してしまった場合はどうすればいいのでしょうか？

A23. パスワードを紛失してしまった場合は、改めて「初めてご利用の方」より操作を行うことで登録したアドレス宛にパスワードが発送されます。

また、学術研究会の申請情報は会員番号に紐づいておりますので、上記方法で再度ユーザー登録を行っても今までの申請情報は無くなることはありません。